

平成30年度 市政運営について

～東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略と重点事業～

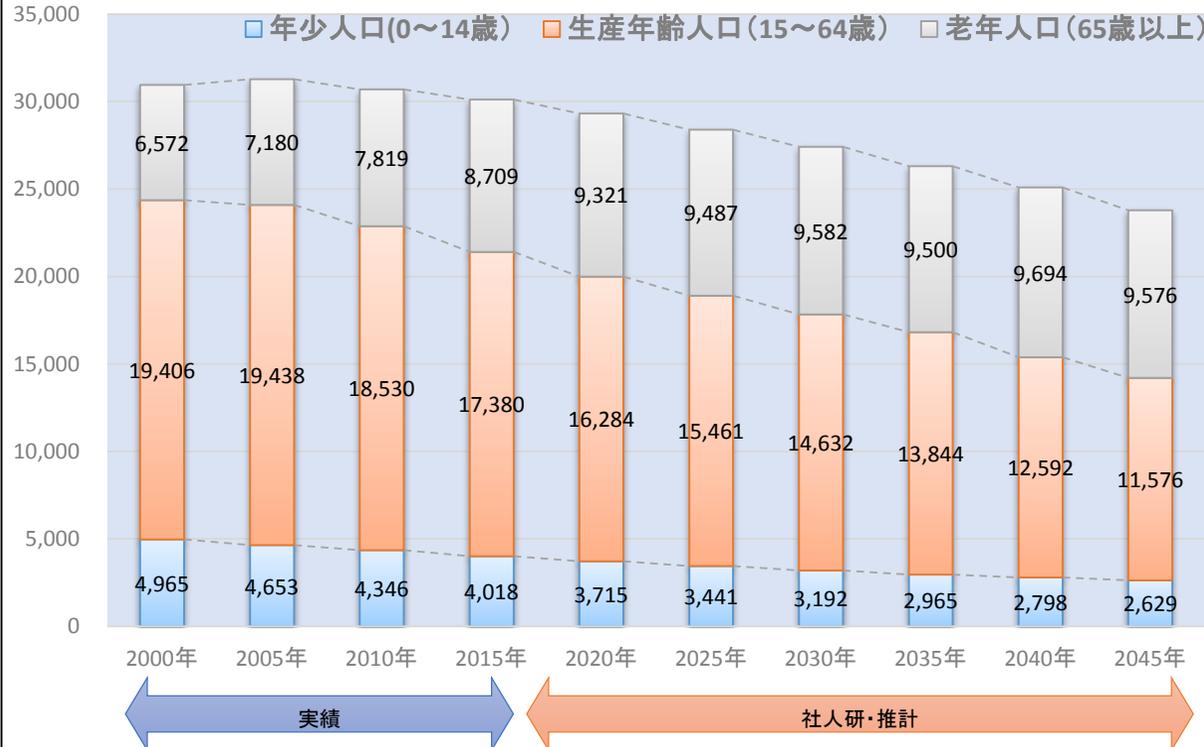


平成30年度 まちづくり懇談会

東御市の人口の推移・推計について

●年齢3区分別人口の推移と将来推計

○年齢3区分別人口の推移と将来推計



資料

「平成27年度国勢調査」:(総務省統計局)

「日本の将来推計人口(平成29年推計)」:国立社会保障・人口問題研究所推計値

	2000年	2015年	2045年
人口(人)	30,943	30,107	23,781
年少人口割合(%)	16.0	13.3	11.1
生産人口割合(%)	62.7	57.7	48.7
老年人口割合(%)	21.2	28.9	40.3

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口(人)	30,943	31,271	30,695	30,107	29,320	28,389	27,406	26,309	25,084	23,781
増減(人)	—	+328	△576	△588	△787	△931	△983	△1,097	△1,225	△1,303
累計(人)	—	+328	△248	△836	△1,623	△2,554	△3,537	△4,634	△5,859	△7,162

東御市の人口の推移・推計について

●年齢5歳階級別人口ピラミッド

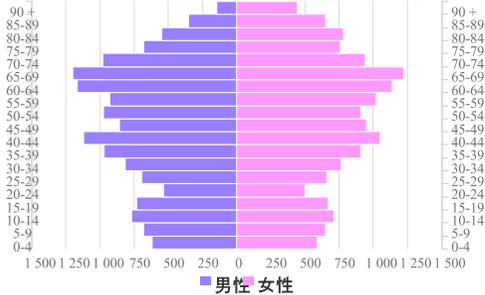
資料

「平成27年度国勢調査」:(総務省統計局)

「日本の将来推計人口(平成29年推計)」:国立社会保障・人口問題研究所推計値

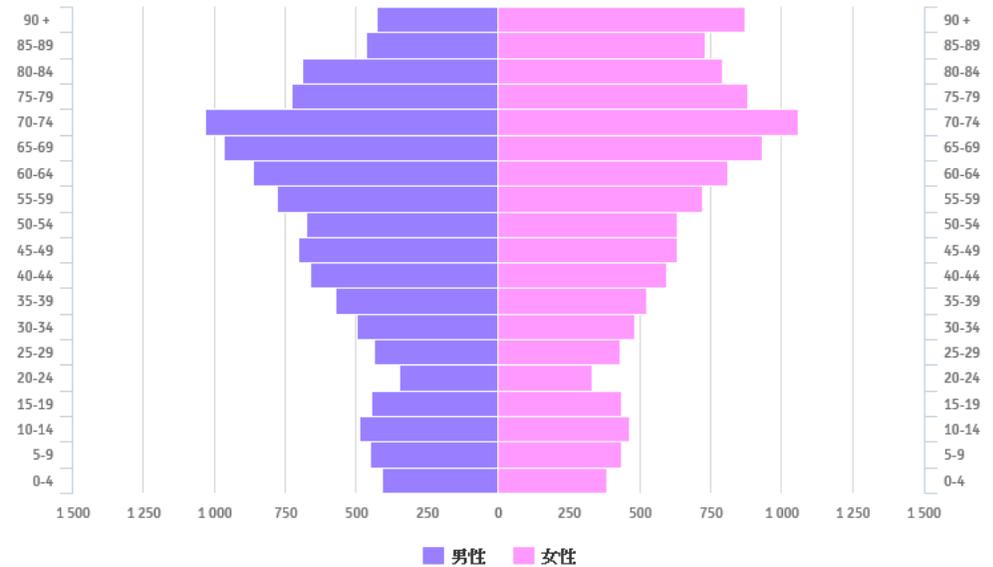
東御市の人口ピラミッド2015年

出典: 国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)



東御市の人口ピラミッド2045年

出典: 国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)



2015年



2045年

30年後

少子高齢化により、「つぼ型」へ加速化

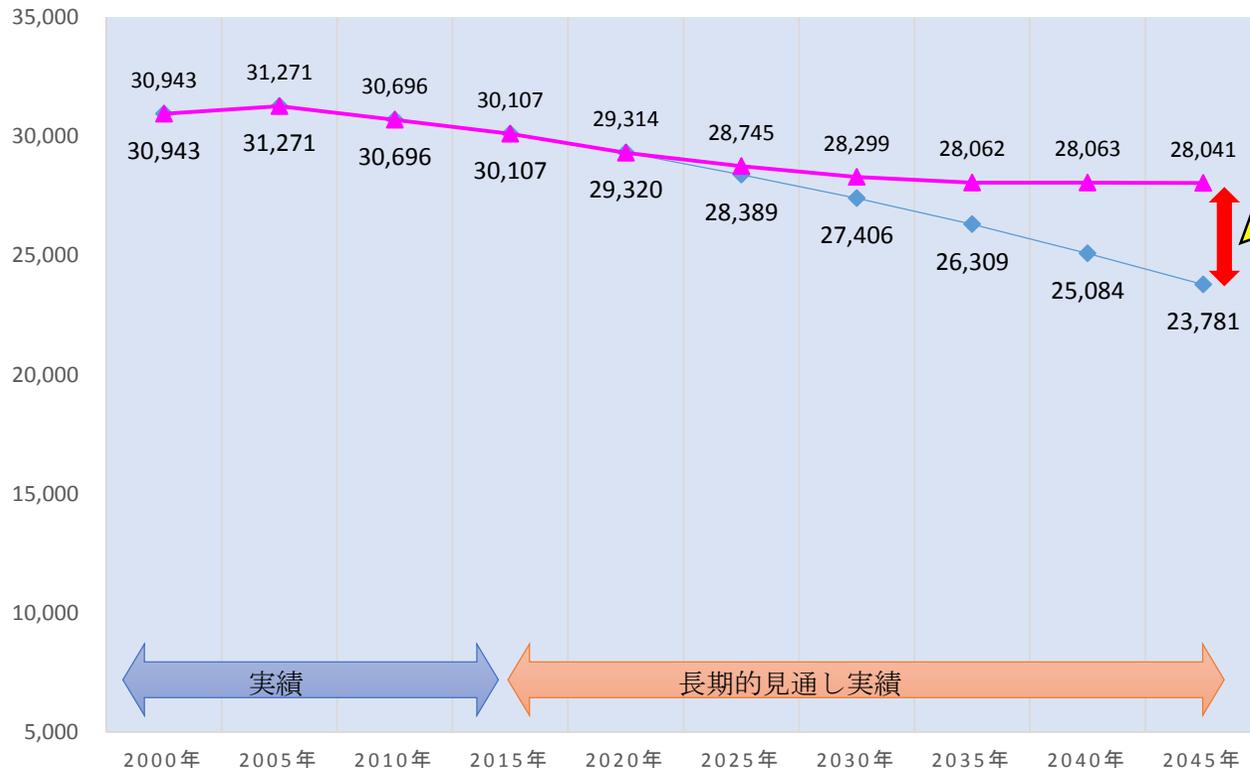
東御市の人口の推移・推計について

● 独自推計による東御市の人口推移と長期的な見通し

人口水準目標 2060年 28,000人

独自推計による東御市の人口推移と長期的な見通し

◆ 社人研推計 人口水準の目標(独自推計) ▲ 人口水準の目標(独自推計)



『東御市まち・ひと・しごと創生
総合戦略』

「人口定着に向けた視点と方向性」

- 子どもを生き育てたいという環境を整える
《出生率を高める》
- 若い世代を呼び込み・呼び戻せる環境を整える
《若者流出に歯止めをかける》
- 東御市らしさを活かした地域環境を整える
《定住者を誘う》

資料

「平成27年度国勢調査」:(総務省統計局)

「日本の将来推計人口(平成29年推計)」:国立社会保障・人口問題研究所推計値

東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標Ⅰ
「とうみ」において安定した雇用を創出する

●方針

地域経済を活性化させ、安定的な所得が得られるよう就業の場の確保と、基幹産業である製造業の振興や地域資源である農業や観光による地域活性化を図り、起業や創業しやすい環境を整えます。

●重点事業

- 農産物の輸出体制の検討
- ワインを基軸とした6次産業化の推進
- 農地中間管理事業による担い手農家への農地の集積・集約化の推進
- 実践型雇用創造事業の支援
- ワークライフバランス(多様な働き方)推進事業



柵津御堂地区

東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標Ⅱ 「とうみ」への新しいひとの流れをつくる

●方針

恵まれた自然環境、歴史文化的資源、観光資源などに磨きをかけ、“来て・見て・知って”もらえる仕組みづくりなどによって交流人口を増加させ、定住人口の増加につなげます。

●重点事業

- IJU移住推進事業
- 空き家バンクの推進
- 観光2次交通社会実験事業(第2期)
- 湯の丸高原施設整備基本構想推進事業
- スポーツ・ツーリズムの推進
- ODMO構築への支援
- 文化財の保護と活用



若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

●方針

結婚・出産・子育ての切れ目のない支援やワークライフバランスの実現と地域の子育て力を高めることにより、安心して子どもを産み育てられ、子育てと仕事の両立が実現できる環境を整えます。



●重点事業

- 信州型自然保育の推進
- 社会体育施設の改修整備
- 小中一貫(型)教育の推進
- 小中学校の学力、体力、道徳力向上
- 地区の地域づくり活動における教育文化活動支援
- スポーツによる地域振興支援
- 地域住民の芸術・文化の振興と普及活動
- 各種検診の受診率の向上
- 健康づくり県民運動「信州ACEプロジェクト」と一体となった啓発推進
- 高地環境を活かした健康づくりの推進

時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、 広域的な地域と連携する

●方針

小学校区単位の地域づくりの推進、中心市街地等の活性化を図るとともに、広域的な地域間連携の強化等、地域課題の解決と活性化に取り組みます。



●重点事業

- 支え合い台帳の作成と活用
- 介護、医療、福祉の連携強化
- 地域づくり活動等推進のための新たな交付金の活用
- 地域ビジョン実現のための行動支援
- 域学連携事業の推進
- 市民活動団体等の活動支援
- 地の利を活かした新エネルギーの活用の推進
- 生ごみリサイクルシステムの推進
- 安全・快適な道路環境の整備
- 公共交通の利便性の向上
- 下水道事業の経営基盤の充実
- 災害に強い地域づくりの推進
- 持続可能な財政運営の推進
- 人権意識の高揚と人権擁護の推進

「新公立病院改革プラン」に基づく再編・ネットワーク化の推進

東御市（全国の自治体病院を含む）では、総務省のガイドラインで示された四つの視点に基づき、平成 29 年 3 月に「新公立病院改革プラン」を策定

- (1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化（軽症急性期～回復期、在宅医療）
- (2) 経営の効率化（収支状況の改善）
- (3) 再編・ネットワーク化（他病院との強い連携）
- (4) 経営形態の見直し（運営主体、運営方法の見直し）

計画の推進



上記の計画を踏まえる中で、平成 29 年 7 月に行った東御市から厚生連に対する連携協議に係る申し入れに基づき、「東御市民病院」と「鹿教湯三才山リハビリテーションセンター」との再編・ネットワーク化を推進する組織として 8 月に「連携協議会」を立ち上げ、10 ヶ月の間に 16 回の検討・協議を行ってきました。

東御市における回復期リハビリと慢性期療養型医療の充実

東御市民病院

60床



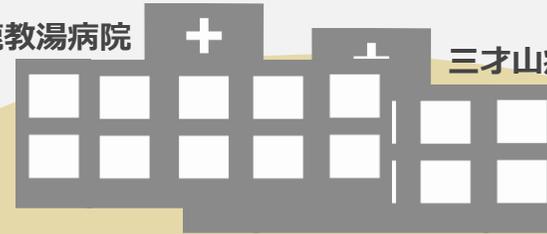
軽症急性期医療を提供

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

鹿教湯病院

三才山病院

653床



回復期・慢性期医療を提供

再編・ネットワーク化の推進

新公立病院改革プラン・公的医療機関2025プラン
長野県地域医療構想

回復期と
慢性期の
拡充

提供する
医療規模
縮小



軽症急性期・回復期・慢性期
医療の強化



軽症急性期



回復期



慢性期



健診



透析



病院機能の再編

役割と業務連携を踏まえた再編

住み慣れた地域で充実した医療が受けられる体制の整備